

学校法人福岡保健学院 学校関係者評価(平成29年3月29日)

評価実施日 平成29年3月29日

武雄看護リハビリテーション学校 理学療法学科

大項目	評価項目	自己点検・自己評価総括	学校関係者評価	
			総合評価	課題及び課題解決に向けた提案
教育理念・目的・人材育成	学校の教育理念・目的・人材育成が定められているか？	福岡保健学院の共通教育理念である「人間愛」「自己実現」のもと、高度な技術と知識を兼ね備えた実践能力の高い理学療法士を養成し、人格向上の努力を続け、自己実現していけるような人を育てる。本校では更に、教育目的として医療従事者の使命感と自覚を持ち、豊かな人間性を育み、実践臨床能力の高い理学療法士を育成することを目的とし、自ら向上心を持ち、救急医療から在宅までの幅広いニーズに対応できる人材育成、高度な医療に対しての科学的根拠に基づいた知識・技術の習得、医療チーム一員としての使命を果たせる人物の育成を目標としている。卒業する際の像としては、専門的職業人として探究心を持ち、高度なコミュニケーション能力を養い、自身の思考を論理的に伝え、対象者を支えられることを主眼においている。	3.7	教育理念に基づき教育活動が行われているが、学生にそれを理解浸透させることが重要である。そのためには、教職員の一貫した取り組みが必要である。
	学校の理念・目的・人材育成像など学生及び保護者、学校関係者に周知されているか？			
	各学科の教育理念・目的・人材育成像は医療・福祉のニーズに方向づけられているか？			
学校運営	目的に沿った運営方針、事業計画が策定されているか？	当法人では毎年事業計画を作成し、法人理事会の決議を受け承認される。事業計画は、全体の方針や方向性、組織が示されている。意思決定システムが構築されている。学校単位では、年度初めに学校長の方針の元、学科管理者が管理目標を設定し、学年ごと(担任)目標設定も周知下進している。運営会議、管理会議、学科会議のほかには国家試験・入試広報・教育課程の委員会を定期的継続的に実施し、学校の年度の学校管理目標を設定し、適正な学校運営の実施に努めている。	3.6	現状に即した事業計画を作成し、教職員への周知を図る努力がされている。組織が大きくなると意思決定システムが見えにくくなるので、全職員が事業計画を理解し学校運営に当たることが重要となる。情報システムについては、IT化は十分ではなく、学生と教員とのコミュニケーションツールの検討が望まれる。
	運営組織や意思決定機能が規則等において明確にされているか？			
	情報システム化等による業務の効率化ははかられているか？			
教育活動	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか？	建学の精神に基づき、社会に貢献できる人材育成を目指し、リハビリテーションの専門職である理学療法士育成のための法人統一の教育課程編成に取り組んでいる。今年度から開始した統一カリキュラムのカリキュラムポリシーなど詳細部分の教員周知に課題を残している。毎年講師及び実習指導者の意見を頂き、科目の到達レベルの設定・教授内容の検討を行っている。職業実践に関しては、医療・福祉施設の協力のもと段階的な実習を取り入れている。授業評価は、授業終了後に授業評価アンケートを実施しており、アンケート結果を分析し問題の共有を図っている。教員の教育力向上については、教育研究大会への発表なども行い、また中央研修や個人々の能力に応じた理学療法士会での活動や各種学術集会への参加を図り、学生教育への反映を図っている。	3.9	学生の授業評価アンケートから授業改善するシステムが必要。また、教育力アップのため教員間の授業評価も重要。教育課程編成については、教員全体への周知が必要である。
	職業実践教育の視点に立ったカリキュラム・教育方法の工夫・開発が行われているか？			
	医療・福祉における職業実践教育が体系的に位置づけられているか？			
	授業評価の実施体制はあるか？			
	教育力向上のための研修等が実施されているか？			
学生指導	学生相談及び就職相談に関する体制が整備されているか？	学生相談に関しては、担任制度を取り定期的な面談及び必要に応じた面談を実施している。また、心理的問題を抱える学生に対してはカウンセラーと連携して問題解決に当たっている。就職相談は、学生全体に対し求人票のパソコン閲覧システム及び学生WEBによる新着情報の伝達を行うとともに、就職ガイダンスを開催し就職活動の指導を行っている。また、個別の面接指導及び履歴書の指導に当たっている。学生の安全管理規定に基づき、指導を行っている。問題が生じた場合は管理会議を開催し協議を行い、その改善に努めている。学生を危険から守るため、交通安全講習、薬物乱用防止講習などを実施している。問題を早期に解決すべく常日頃から、学生⇄保護者⇄教職員の連携連絡を密に図っている。また、高専連携に関しては、常日頃より在校生の状況を出身校に伝え、またオープンキャンパスなどで在校生との交流の場を開いている。	3.8	最近ではメンタル面の弱い学生が増えている。カウンセラー体制の検討や教員が一体となり相談しやすい体制作りを行い学生の心身の不調に対して早急な察知や対応ができるように努めてほしい。
	学生の生活指導及び安全管理に関する体制が整備されているか？			
	高校や保護者と連携した取り組みが行われているか？			
学修成果	就職率が良好であるか？	①就職率は開校以来100%である。面接指導、就職説明会など充実した就活指導支援の結果が現れていると考えられる。 ②28年度の退学者は1年生4名、2年生1名、3年生0名であった。留年者は0名であった。1年生4名は全て進路変更によるものであった。しかし、退学者を出した結果は謙虚に受け止め、理学療法士の魅力を伝えようと、さらに魅力ある学校となるよう努めていきたい。 ③国家試験合格率は、100%とはならなかったものの90%台と全国平均を上回ることができた。 ④職業実践に向けて連携をすすめる関連施設に就職した学生については、卒業後の就労や社会活動などの状況がつかみやすいが、他の卒業生に関しては情報を十分に得られていない。教育活動の向上のために活用するには、データの集積と分析が必要。	3.7	1年時より学習支援を行い、退学・留年の低減及び国家試験合格に向けた取り組みが実施されている。国家試験合格率及び就職率は良好であるが、退学者・留年率の課題は残る。退学の理由を検証し教育活動に反映させる必要がある。また、初年次教育の在り方については、今後とも検討していくことが重要。卒業生への支援は個別的には実施されているが、卒後教育等についても今後検討してほしい。
	退学者・留年率の低減しているか？			
	国家試験合格率が良好であるか？			
	卒業生の社会での活躍を評価し、教育活動の改善に活用されているか？			
教育環境	学内の教材及び教育環境改善に向けた取り組みが行われているか？	施設・設備・機器は設置基準及び関連法規に適合しており、必要に応じて新たな教材を整備できるよう点検を行っている。教育環境整備には力を入れており、教室椅子の入れ替え、学内自己学習環境の整備等を行っている。臨床実習については、実習指導教員が複数回臨床実習病院に行き、指導者との情報交換や学生指導を実施する体制をとっており、安心して実習を行える環境となっている。防災は、防災組織を作成し年2回の訓練を実施している。	3.7	教育環境は特に臨床実習環境改善が図られているが、教材の充実が必要。最近、イメージ力の弱い学生も多いため模型や視覚教材などイメージを喚起しやすい教材を増やしてはどうか。防災については、防火訓練が主体であり、学生に防災意識を喚起するような教育も必要だと思う。
	臨床実習における環境改善の取組が行われているか？			
	防災に関する体制が整備されているか？			
学生募集	高等学校等に対し適切な情報提供が行われているか？	高専連携を重点的に行っている。常に最新の情報を提供するようこころがけている。またオープンキャンパスへの参加依頼やガイダンスの参加行って情報提供をしている。また、情報提供内容は正確に誇大な内容は行わず行えいとと負している。修学支援制度としては、特待生制度を設けるとともに、金融機関を紹介し、低金利の教育ローンを提供している。	4	適正な募集活動が行われている。少子化により学生数減少に伴い学生確保が困難になることが予想されるため、専門職の魅力及び学校の魅力を適切に学生に伝える方法の検討が望まれる。
	資格取得・就職状況等の情報を正確に伝えているか？			
	修学支援制度があるか？			
財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか？	毎年、事業計画に基づき予算が作成されている。財務は法人本部と各学校の財務の2重体制をとっており、学校の財務体制管理が行われている。また、決算及び予算について理事会で承認されており、会計監査は適正に実施されている。	4	適正かつ健全に運営されている。
	予算・収支計画は妥当であるか？			
	会計監査は適切に実施されているか？			
法令遵守	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか？	法令遵守は、法人全体で取り組まれており、次の調査等においてチェックを行っている。①自己点検自己評価②学校基礎調査③専修学校各種学校評価④学校施設認定規則に基づく報告個人情報保護に関しては法人全体の規定を設けており、教職員及び外部講師、学生が遵守すべき事項が定められている。臨床実習における学生の個人情報保護については、SNSの取り扱いも含め指導を徹底している。	4	法令遵守は適切に行われている。その結果を公表していくことで、学生にとってもコンプライアンスの重要性を示すことにつながると思う。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか？			
社会貢献・地域貢献	学校施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか？	学校を県内の高校の入試会場に提供したり、高専連携に力を入れている。また、地域住民との交流の場やボランティア活動は、教職員が中心となり、学生と共に活動の場を広げている。公的機関の駅や図書館までの車いす体験や、学校敷地内・外の清掃活動にも力を入れている。その他、企業との連携で近隣の施設でのアルバイトを含む障がい者への支援活動なども行っている。	3.3	医療人の資質として社会貢献・地域貢献は必要なものであり、学生時代の経験は貴重なものである。ボランティア等の推奨だけでなく、その参加学生などの実績を含め学校として把握したほうが望ましいと思う。またボランティア活動への学校の支援体制も検討してほしい。
	学生のボランティア活動を推奨、支援しているか？			